

MENU

- 1 新会長あいさつ p1
- 2 活動のご報告 p2
- 3 事務局より p6

あいさつ

日本港湾経済学会中部部会
新会長 大島 俊一
(中部大学教授 商学博士)



国際的な動向の下で巨大な物流及び運輸関連業種間でのグローバル統合化が推進している。今この業界が高度情報通信網を整備した IT 機器の活用と共に長年培ってきた国内外の運輸ビジネスのノウハウを積極的に 24 時間 365 日無休の陸海空の国際的輸送ネットワークを進化させながら、生産・販売・消費そしてリサイクル事業にまで経営戦略を拡大し、既存の業態を根底から見直して真に国際競争力のある永続的企業経営を全世界的に構築し始めているのである。その目指すべき 21 世紀の経営形態を「高付加価値追求型オンリーワン経営」と提唱している。わが国の貿易振興の拠点としての港湾と空港の存在が、21 世紀に入り既存の地域経済や都市計画にまで緊密に連携し、またその本源的な巨大な影響力を利用促進することで、地域産業を再生するという図式が、漸くわが国の基本施策として実現してきているのである。

世界を概観すれば、広域交流を視野にした空港・港湾・高規格道路・そして鉄道体系の整備であり、それらをリンクした高度大量輸送体系及びその基盤整備としての中核貿易産業基地建設への着実な推進が今実行されているのである。

当学会としては、こうした視座で一連の物流体系の中の「港湾」、特に名古屋港の発展に対して微力ながら貢献していきたいと願っている。

思えば、私と名古屋港研究の付き合いは井関弘太郎先生から「経営関係の教員がないので大島君入ってくれないか」と言われたことから始まる。それは 30 年前の話である。「僕は色々やってきたが

(次ページに続きます)

(前ページから続きます)

NY&NJ Port Authority だけは研究できなかった。それを君にやってもらいたい」とも言われた。二つばかり論文に書いたが、やはり現地を視察しなければと努力したが、実現するまでに10年を要した。これを機会に翌年から10日から2週間掛けて、欧州、中国、東南アジアを回り世界の著名な空港や港湾そして企業各社やEU本部で経済部長までも会うという視察を実現した。

世界の動向を自分の眼で確かめることが出来たことで、物流・流通チャンネル及び情報ネットワーク、環境、都市計画などの方向性を感じ取ったことと併せて、わが国の法整備動向を検討しながら研究を進めてきたが、その間、中部地域での空港問題やグリーン物流推進会議などにも参画する機会があり、今日に至っている。それだけに、総取扱貨物量、貿易黒字額日本一を継続している名古屋港の将来に対して何か自分として微力ながら役立ちたいと考えている。とはいえ、学会会員や支援者の方々、名古屋港管理組合職員など、多数の協力があってこそこの学会。歴代の会長と同様のご支援とご協力を心よりお願いする次第である。

2019年9月

活動のご報告

令和元年度 中部部会総会及び研究報告会

令和元年度 日本港湾経済学会中部部会 総会及び研究報告会を
令和元年8月16日(金)に名古屋港湾会館にて開催いたしました。

開会の辞・挨拶

総会及び研究報告会の開催に先立ち、林会長よりご挨拶を申し上げるとともに、日本港湾経済学会本部より、副会長の大阪商業大学 松尾 俊彦様にご臨席賜り、ご挨拶のお言葉をいただきました。



開会の辞【林 中部部会会長】



挨拶【松尾 本会副会長】

研究報告会

研究報告会では、朝日 幸代氏（三重大学）による司会進行のもと、下記の方よりご報告をいただきました。 ※____（アンダーライン）は当日の発表者

- ① 後藤 孝夫 氏（中央大学）
森高 正博 氏（九州大学）
松本 守 氏（北九州市立大学）
「中部圏の農林水産品・食品輸出における名古屋港の今後の役割と中部国際空港との連携のあり方」
- ② 水野 英雄 氏（椙山女学園大学）
「名古屋港へのクルーズ客船の寄港の現状と近隣港との連携による寄港促進の可能性」
- ③ 林 上 氏（中部大学）
「名古屋港における埠頭建設の歴史と金城地区サービス化の意義」

また、それぞれの報告について予定討論者の山本 圭介氏、岡松 宏氏、林 泰正氏との活発な意見交換が行われました。



後藤 孝夫 氏



水野 英雄 氏



林 上 氏



司会 朝日 幸代 氏



研究報告会の様子

総 会

総会では、以下の議事について審議をし、すべて議案どおり承認いたしました。

- 議事 1：平成 30 年度事業報告、決算及び監査報告について
- 議事 2：役員の変更について
- 議事 3：令和元年度事業計画及び予算について
- 議事 4：会則の一部改正について

総会及び研究報告会終了後、名古屋港湾会館にて懇親会を開催いたしました。

林 上会長の挨拶に続き、高橋 治朗副会長の乾杯の音頭により懇親会が始まりました。その後、名古屋港管理組作成の名古屋港プロモーションビデオ（一般の方に港湾の役割を知っていただくため、5つの視点で分かりやすく紹介した内容）を上映いたしました。

また、大島 俊一新会長よりご挨拶をいただき、新会長としての抱負を語っていただきました。

懇親会では、25名の方にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。



高橋副会長による乾杯



大島新会長による挨拶



懇親会の様子

事務局からのお知らせ

会費納入のお願い

個人会員の方で、まだ今年度の会費の納入がお済みでない方へ、請求書を送付させて頂いております。

つきましては、会員会費の納入を、お手数ですが下記の指定口座まで、請求金額をご確認の上、11月末までにお振込み頂きますようお願い申し上げます。

※個人会員会費は年額1,000円となっておりますが、納付状況により請求金額が異なりますので、必ず請求書をご確認ください。

【振込先】

三菱UFJ銀行

名古屋港支店（店番号292）

普通預金 口座番号 0633227

日本港湾経済学会 中部部会



日本港湾経済学会中部部会ニュースレターに関するご意見、ご要望、ご提案、お問合せがございましたら、事務局までご連絡ください。

配信停止を希望される場合は、お手数ですが配信停止の旨を事務局までご連絡ください。

■ 日本港湾経済学会中部部会 事務局 ■
名古屋港管理組合 企画調整室 調整担当内

担当：堀部、生田

〒455-0033 名古屋市港区港町1番11号

TEL:052-654-7904 FAX:052-654-7997

E-mail: chousei@union.nagoyako.lg.jp

日本港湾経済学会中部部会ホームページ URL : <http://portecon-chubu.com>

日本港湾経済学会ホームページ URL : [http:// port-economics.jp/](http://port-economics.jp/)

名古屋港管理組合ホームページ URL : <https://www.port-of-nagoya.jp>